

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回7月の「てがたん」は7月12日(土)で「寄生・共生する生き物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは7月5日(土)です。よろしくお願いいたします。

6月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→鳥博駐車場前の田んぼ→手賀沼遊歩道→フジ棚
- 観察日時/天気 2014年6月14日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 24人 (一般16人、子ども8人)
- 市民スタッフ 8人 (石原直子、伊東茂子、岡廣志、窪田憲史、須貝基康、染谷迪夫、松村定雄、水上香苗)
- 鳥博職員 2人 (塩田いづみ、村松和行)

観察記録 — 6月に観察した生き物リスト—

【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/クイナ科：オオバン/カッコウ科：ホトトギス/キツキ科：コゲラ(声)/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ヨシキリ科：オオヨシキリ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ

【両生類】

アマガエル科：ニホンアマガエル/アカガエル科：ウシガエル(幼生)

【甲殻類】

ホウネンエビ科：ホウネンエビ/テナガエビ科：スジエビ/ザリガニ科：アメリカザリガニ

【貝類】

モノアラガイ科：モノアラガイ

【ヒルの仲間】

イシビル科：ナミイシビル

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：アゲハ、アカボシゴマダラ/甲虫の仲間：コガタリハムシ、ヒメアカボシテントウ、センノカミキリ/カメムシの仲間：ヨコヅナサシガメ/トンボの仲間：コシアキトンボ、シオカラトンボ、トンボ科のヤゴ(種不明)/バッタの仲間：オンブバッタ、ショウリョウバッタ、ツチイナゴ、ヒシバッタ/クモの仲間：ヒメカラスハエトリ

【花】

キク科：ハルジオン、ウラジロチチコグサ、セイヨウタンポポ/キンボウゲ科：ケキツネノボタン/マメ科：シロツメクサ、アカツメクサ/アヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ/ナデシコ科：ハコベ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ/ツユクサ科：ツユクサ/トウダイグサ科：アカメガシワ/キョウチクトウ科：キョウチクトウ

6月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは、「カエルの世界—水中から陸へ」でした。当日は梅雨の晴れ間で暑いぐらいの天気でした。
網をつかってカエルの他にも様々な水田の生き物を捕まえて観察しました。



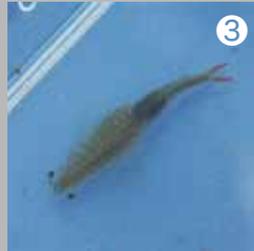
今月の案内人 岡廣志さん 石原直子さん



カエルの生態について説明



手賀沼でみつけたジョウロウスゲ



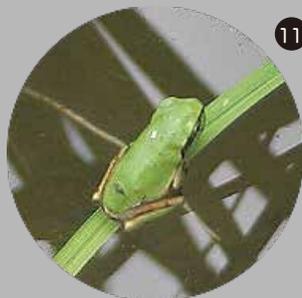
水田でみつけたホウネンエビ



水田でみつけたヤゴ (アキアカネまたはナツアカネ?)



参加者の方が家の庭で見つけたヒバカリの幼蛇



ニホンアマガエル

観察会で一番多くみられたカエルです。オタマジャクシから変態途中の個体もみられました。



6月てがたんの観察生物とルート



ウシガエル

ウシガエルは通常、オタマジャクシの姿で冬を越して成体に変態します。



フジ棚でみつけたヒメカラスハエトリ



水田でみつけた色が違うオンブバッタ



手賀沼で観察したオオパンの幼鳥



フジ棚近くの水辺で見つけたスジエビ



水田近くでみつけたセンノカミキリ

今月の鳥 オオヨシキリ (ヨシキリ科)

分布 日本には夏鳥として沖縄を除き全国に渡来する。日本で繁殖したものは主に東南アジアで越冬する。

生息地 低地～山地の水辺のヨシ原。

食べ物 主に昆虫。

繁殖 繁殖期は5～8月で、主に一夫多妻で繁殖する。ヨシの茎にイネ科の葉や茎を使って椀状の巣をつくる。巣作りや抱卵はメスが行う。一つの巣に4～6個の卵を産む。



巣



卵